

写真



写真 (No.836①)
小さな岬状地形の北
向きに面する露頭で
あり、嘉陽層の断層
が観察される。



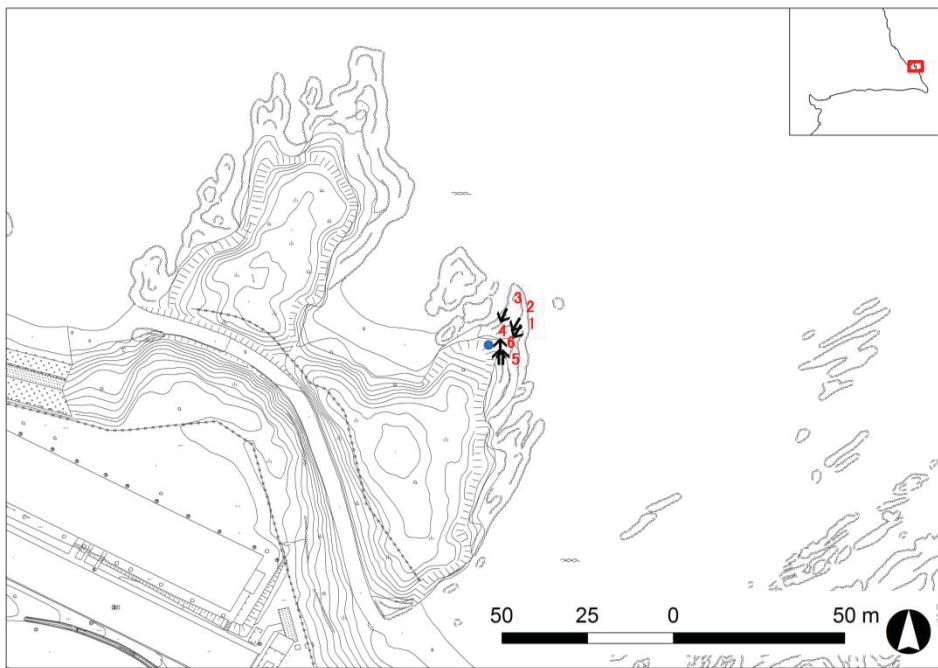
写真 (No.836②)
同上。



写真 (No.836③)
同上。

写真	 <p data-bbox="1034 241 1270 315">写真 (No.836④) 同上。</p>
----	--

付表- 4. 2. 2. 24(1) 重要な地形・地質の記録の整理結果 (No. 114)

No.	114
種類	海蝕洞・石灰洞
調査年月 日	平成 26(西暦 2014)年 6 月 30 日
概要	<p>辺野古崎の北西約 530m に位置する辺野古崎北方海岸の海蝕谷にできた海蝕洞で、No.116 の海蝕洞に繋がっている。</p> <p>海蝕洞の大きさは幅、高さとも約 1.5m である。</p>
位置	 <div data-bbox="411 1272 845 1440"> <p>【No.114 観測点座標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緯度:26° 31' 30.6140" ・経度:128° 03' 03.4535" ・標高(EL):1.513m ・標高(DL):2.676m </div>
形状・構造	小さな岬の先端の高さ 5m 程度の嘉陽層の海食崖に海蝕洞が形成されている。海蝕洞は向こう側に貫通し、No.116 の海蝕洞と同一のものである。
規模	海蝕洞の大きさは幅約 1.5m、高さ約 1.5m で、向こう側に貫通している。
その他 (保存状態)	海蝕洞の手前には波蝕棚がみられ、海蝕洞は砂礫などが堆積せず、保存状態は比較的良好である。

代表地点の周辺 4 方向からの写真

【No.114 観測点座標】

- ・緯度:26° 31' 30.6140"
- ・経度:128° 03' 03.4535"
- ・標高(EL):1.513m
- ・標高(DL):2.676m



調査地点:No.114(海蝕洞・石灰洞)

撮影日時:2014.6.30 14:52



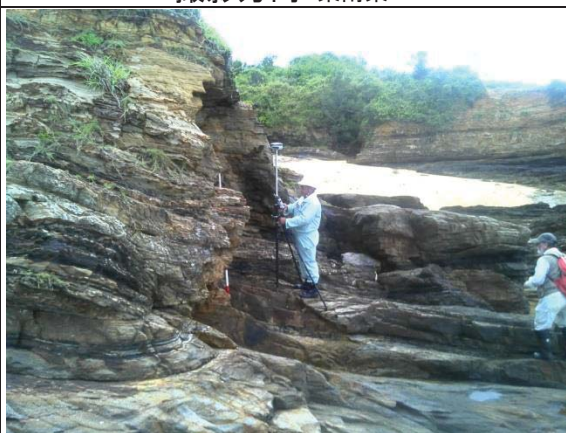
位置情報:緯度 26° 31' 31.07"
経度 128° 03' 03.34"
撮影方向:南東



位置情報:緯度 26° 31' 30.84"
経度 128° 03' 03.32"
撮影方向:東南東



位置情報:緯度 26° 31' 30.90"
経度 128° 03' 03.71"
撮影方向:南南西



位置情報:緯度 26° 31' 30.73"
経度 128° 03' 03.75"
撮影方向:西

付表- 4. 2. 2. 24(3) 重要な地形・地質の記録の整理結果 (No. 114)

写真






写真 (No.114①)
海蝕崖に形成されている海蝕洞である。
地質は嘉陽層の砂岩・泥岩が卓越する互層である。



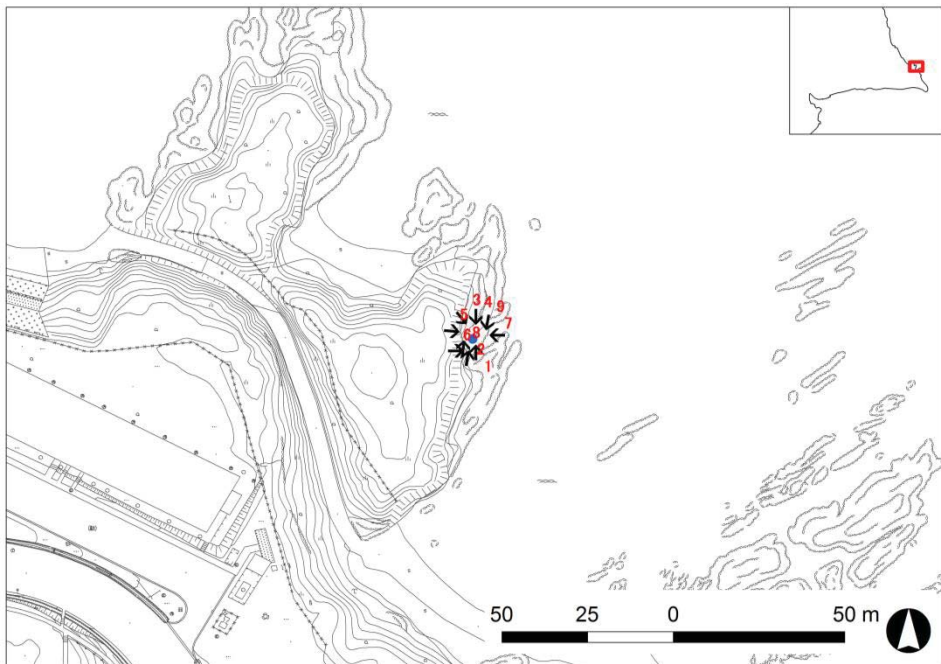
写真 (No.114②)
同上。



写真 (No.114③)
同上。

写真		<p>写真 (No.114④) 同上。 海蝕洞は貫通し、もう一方の端が No.116 の海蝕洞になっている。</p>
		<p>写真 (No.114⑤) 海蝕洞のある海蝕崖前面の波蝕棚。嘉陽層の互層である。</p>
		<p>写真 (No.114⑥) 同上。</p>

付表- 4. 2. 2. 25(1) 重要な地形・地質の記録の整理結果 (No. 115)

No.	115
種類	海蝕洞・石灰洞
調査年月 日	平成 26(西暦 2014)年 6 月 30 日
概要	<p>辺野古崎の北西約 520m に位置する辺野古崎北方海岸の海蝕崖に形成された海蝕洞である。</p> <p>左右二つの海蝕洞が形成されており、潮位によって浸水する場所に位置している。</p>
位置	 <div data-bbox="408 1317 845 1489"> <p>【No.115 観測点座標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緯度:26° 31' 29.9258" ・経度:128° 03' 03.5216" ・標高(EL):-0.433m ・標高(DL):0.730m </div>
形状・構造	高さ7～8m 前後の嘉陽層の海蝕崖に二つの海蝕洞が形成されている。潮位によって浸水する場所に位置している。
規模	向かって右側の海蝕洞は、幅約 1m、高さ約 3m、奥行き約 3m、左側の海蝕洞は、幅約 1m、高さ約 1m、奥行き約 2m で、右側のほうが大きい。
その他 (保存状態)	海蝕洞の手前は嘉陽層の波蝕棚で、波蝕棚の谷状の凹部が海蝕洞に繋がり、その凹部と海蝕洞の底は砂が堆積している。

代表地点の周辺4方向からの写真

【No.115 観測点座標】

- ・緯度:26° 31' 29.9258"
- ・経度:128° 03' 03.5216"
- ・標高(EL):-0.433m
- ・標高(DL):0.730m



調査地点:No.115(海蝕洞・石灰洞)

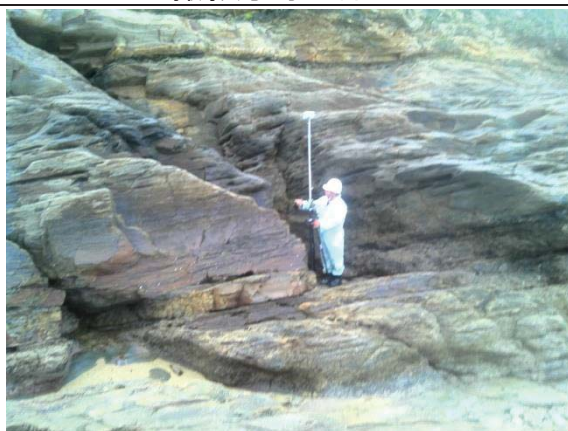
撮影日時:2014.6.30 15:11



位置情報:緯度 26° 31' 30.15"
 経度 128° 03' 03.82"
 撮影方向:西南西



位置情報:緯度 26° 31' 30.10"
 経度 128° 03' 03.50"
 撮影方向:東



位置情報:緯度 26° 31' 29.85"
 経度 128° 03' 03.67"
 撮影方向:北西



位置情報:緯度 26° 31' 29.80"
 経度 128° 03' 03.65"
 撮影方向:北北西

写真



写真 (No.115①)
海蝕崖に形成され
た波蝕谷。
海蝕崖の前面にあ
る波蝕棚の凹部が
入りこみ、海蝕洞に
繋がっている。



写真 (No.115②)
同上。

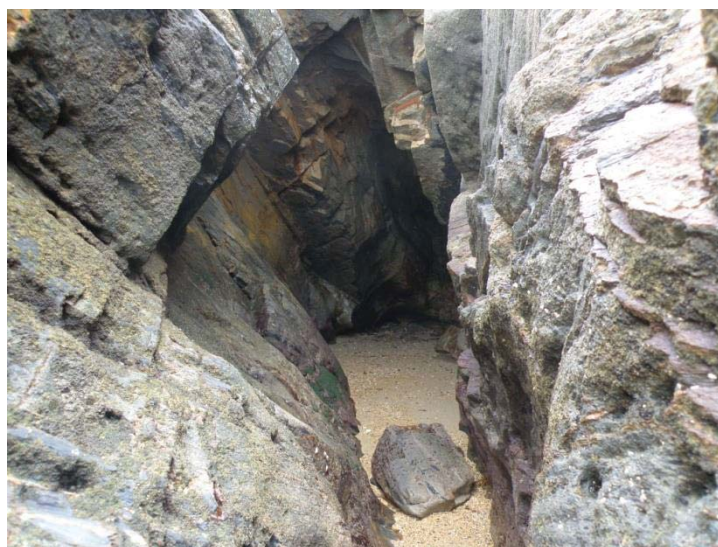


写真 (No.115③)
海蝕洞の洞内底部
には砂(主として粗
砂)が堆積してい
る。

写真






写真 (No.115④)
同上。砂が海蝕洞
の洞内にまで入り
込み堆積している。



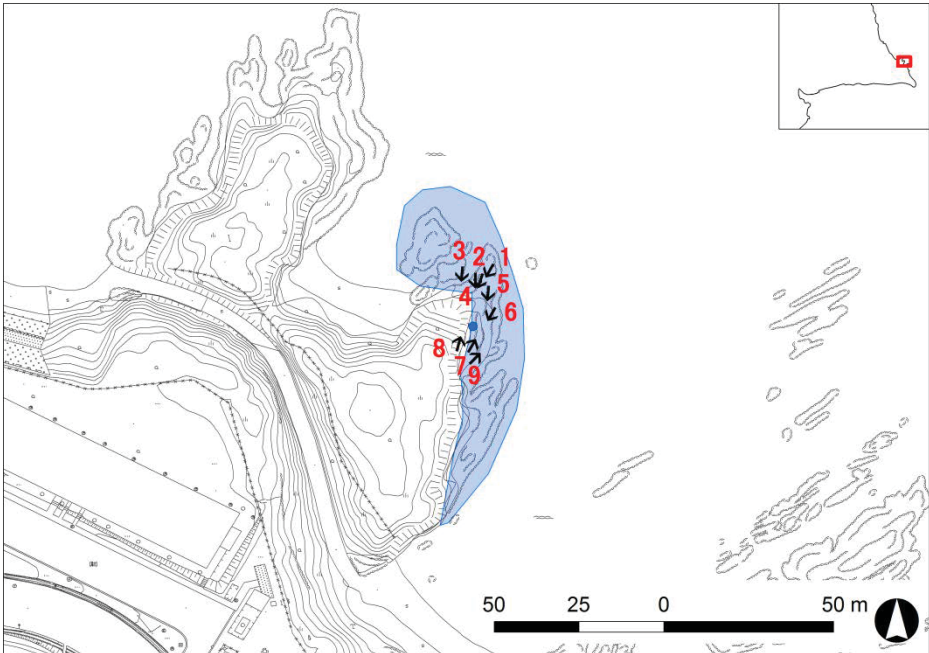
写真 (No.115⑤)
同上。



写真 (No.115⑥)
海蝕洞周辺の波蝕
棚の状況。

写真		写真 (No.115⑦) 海蝕洞周辺の海蝕崖。
		写真 (No.115⑧) 海蝕洞周辺の波蝕棚。 地質は嘉陽層の互層である。 走向・傾斜は N30E、60° (NW) で、北西側に大きく傾いている。
		写真 (No.115⑨) 同上。

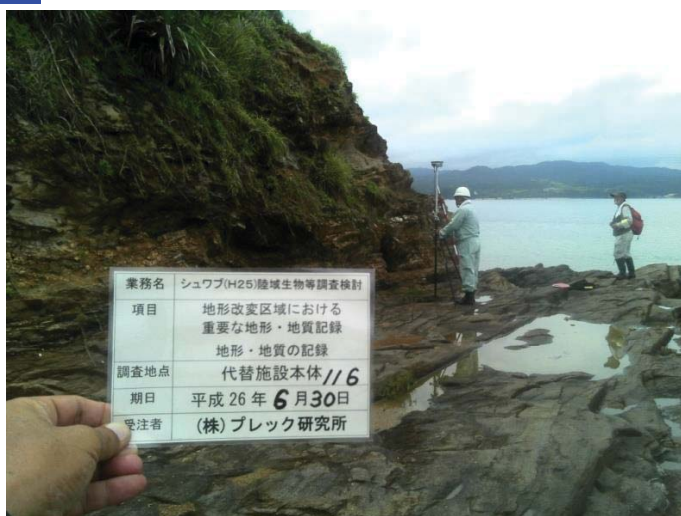
付表- 4. 2. 2. 26(1) 重要な地形・地質の記録の整理結果 (No. 116)

No.	116
種類	波蝕棚
調査年月日	平成 26(西暦 2014)年 6 月 30 日
概要	<p>辺野古崎の北西約 500m に位置する小さな岬の東向きの海食崖の裾に分布する波蝕棚である。海岸線に沿って幅は広いが、沖に向かっては狭い。</p> <p>背後の海蝕崖に No.114 の海蝕洞に繋がる海蝕洞がある。</p>
位置	 <div data-bbox="406 1265 837 1444"> <p>【No.116 観測点座標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緯度:26° 31' 30.4056" ・経度:128° 03' 03.5507" ・標高(EL):2.218m ・標高(DL):3.381m </div>
形状・構造	岬の東岸に海蝕崖に接して、幅約 100m、沖合約 10～20m の波蝕棚が形成されている。海蝕崖の高さは約 5m で、波蝕棚に接して小さな海蝕洞が形成されている。この海蝕洞は No.114(海蝕洞)に繋がっている。
規模	波蝕棚の大きさは、海岸線に沿って幅約 100m、沖合に向かって約 10～20m である。また、No.114(海蝕洞)に繋がる海蝕洞の大きさは、幅約 0.5m、高さ 0.5m であり、No.114 との間の距離は約 10m である。
その他 (保存状態)	波蝕棚が砂浜より比較的高いため、海蝕崖に形成された海蝕洞には砂礫がほとんど堆積せず、保存状態は良好である。

代表地点の周辺4方向からの写真

【No.116 観測点座標】

- ・緯度:26° 31' 30.4056"
- ・経度:128° 03' 03.5507"
- ・標高(EL):2.218m
- ・標高(DL):3.381m



調査地点:No.116(波蝕棚)

撮影日時:2014.6.30 15:01



位置情報:緯度 26° 31' 30.24"
経度 128° 03' 03.49"
撮影方向:北



位置情報:緯度 26° 31' 30.36"
経度 128° 03' 03.72"
撮影方向:北西



位置情報:緯度 26° 31' 30.70"
経度 128° 03' 03.87"
撮影方向:南西



位置情報:緯度 26° 31' 30.62"
経度 128° 03' 03.82"
撮影方向:西南西

写真






写真 (No.116①)
波蝕洞の背後の海
蝕崖には No.114 の
海蝕洞と繋がる海蝕
洞がみられる。



写真 (No.116②)
同上。



写真 (No.116③)
海蝕洞のある海蝕崖
の地質は嘉陽層の
互層である。

写真		写真 (No.116④) 波蝕棚の背後の海 蝕崖の地質。 嘉陽層の砂岩・泥岩 の卓越する互層であ る。
		写真 (No.116⑤) 同上。
		写真 (No.116⑥) 同上。